

# 第 35 号

2021 年 11 月 1 日  
(令和 3 年 11 月 1 日)

# ソムリエの風

特定非営利活動法人  
奈良まほろばソムリエの会会報紙

発行 特定非営利活動法人  
奈良まほろばソムリエの会  
広報グループ  
〒630-8217  
奈良市橋本町 3-1  
きらっ都・奈良 (BONCHI)

## 当会挙げて「奈良検定事業」をサポート！

本年 1 月に予定されていた「第 15 回奈良まほろばソムリエ検定」試験は、コロナ禍により延期となり、来年 3 月 13 日 (日) に開催されることになりました。第 15 回試験から、当会は奈良商工会議所が主催する同事業を積極的にサポートすることといたしました。  
(専務理事 鉄田憲男)

### 会場案内など試験の運営を補助



### 第 14 回奈良検定 (昨年 1/12)

当会は 10 年前、奈良まほろばソムリエ合格者同士の交流・親睦会としてスタートし、NPO 法人化したあとも、毎年合格者などが入会され、県内でも有数の NPO 法人に成長しました。いわば奈良検定は当会の生みの親です。



### 会場の天理大学を下見 (8/24)

具体的内容は今後メールなどで皆さんにお知らせいたします

ので、ぜひ積極的なご応募・ご協力をお願いいたします (薄謝進呈)。

### 「寄付金制度」を整えました！

当会は今後の周年事業など多額の出費に備え、寄付金制度を整えました。ご寄付いただける場合は、お申込み書にご記入の上、添付ファイルとして当会の代表アドレス (info@stomo.jp) にお送りいただき、お金は当会の口座にお振り込みいただくという仕組みです。

詳しくは本紙 4 面の囲み記事および本紙に同封のお願い状をご参照ください。

少額で結構です。できるだけ多くの会員の皆さんからのご寄付をお待ちしています。

### 特別開帳の寺院を定点ガイド

今秋も、観光プロモーション課 (県観光局) から、「祈りの回廊秘宝・秘仏特別開帳」事業に伴う定点ガイドの依頼がありました。

磯城郡田原本町の安養寺 (9/18～26) と奈良市の不空院 (10/17 および 10/20～11/15) で、安養寺は南都銀行の OB から成る「ナント・なら応援団」と合同で実施いたしました。



### 安養寺で受付とガイド (9/22)

### 『奈良万葉の旅百首』の書評

『月刊大和路 ならら』(本年 8 月号) の「奈良県立図書情報館の館員さんが選ぶ! この 2 冊」のコーナーで、本書が紹介されました。

随所のコラムや巻末の基礎知識により「万葉集の入門としても有用な内容となっている」とお書きいただきました。

### 『奈良通が選んだ奈良万葉の旅百首』

奈良まほろばソムリエの会著: 上野 誠監修  
京阪奈情報教育出版 2021年2月 1,000円(税別)

本書は、奈良の文化・観光の振興をめざしガイドや講演などの活動を行っている「奈良まほろばソムリエの会」の設立 10 周年記念事業として刊行された、県内の万葉故地を訪ねるためのガイドブックである。「奈良まほろばソムリエの会」会員のうち 60 名が分担執筆し、奈良県内を、初瀬・桜井、天理・山の辺の道、宇陀、吉野、飛鳥、橿原、葛城・御所、奈良盆地中西部、生駒・龍田、奈良市西部、奈良市東部の 11 エリアに分けて、奈良ゆかりの万葉歌百首を取り上げ、歌碑や歌に関する場所、行き方などを説明している。

それぞれの歌には、読み下し文と万葉仮名で書かれた原文、訳文がセットで書かれており、とてもわかりやすい。また、万葉集の説明が随所にコラムとして掲載されており、巻末には万葉集の基礎知識も書かれているため、万葉集の入門としても有用な内容となっている。

ちなみに、図書情報館の前を流れる佐保川を詠んだ歌も 3 首紹介されている。そのうちの 1 首が大伴坂上郎女 (おほとものさかのうへのいらつめ) の歌「うち上る佐保の河原の青柳は今春へとなりけるかも (訳: 川に沿って上っていく佐保の河原の青柳は、いまやすっかり春らしい風情になったことよ)」である。当時の佐保川には柳が茂り、千鳥や河鹿 (カジカガエル) の鳴き声が響いていたという。今は奈良県景観資産にもなっている桜並木で有名な佐保川だが、当時は青柳で春の訪れを感じる場所だったことがわかる。ぜひ本書を持って現地へ赴き、万葉集の時代から変わったもの、変わらないものを確かめてみてはいかがだろうか。

(植原 千恵)



### 『月刊大和路ならら』(8月号)



# シリーズ「万葉集」

## 万葉びとの知性（3）

■万葉びとは漢字の表す意味を知って訓をあてた一義訓一

季節や自然現象を肌で感じたまま、見た形で訓を当てています。

①「寒」は「冬」、「暖」は「春」。

原文	寒過 暖来良思 朝鳥指 … (巻 10-1844)
読下文	冬過ぎて 春来るらし 朝日さす …

②「冷」は「秋」。

原文	冷風之 千江之浦廻乃 木積成 … (巻 11-2724)
読下文	秋風の 千江の浦廻の 木積なす …

③霰は丸い雪のような形をしているので「丸雪」と書いて「霰」。

原文	丸雪降 遠江 吾跡川 楊 … (巻 7-1293)
読下文	霰降り 遠江の吾跡川 楊 …

④「火氣」は「けぶり(煙)」。

原文	繩乃浦余 塩焼火 氣 … (巻 3-354)
読下文	なほ 繩の浦に 塩焼くけ ぶり …

■万葉びとは呼び声や動物の鳴き声を文字にした一擬声語一

(1)喚犬(犬を呼ぶとき)は「まま」と言い、(2)追馬(馬を追うとき)は「そそ」と言ったことから「喚犬」は「ま」と読み、「追馬」を「そ」と読みました。

原文	… 烟立 春日暮 喚犬追馬鏡 … (巻 13-3324)
読下文	… けぶりた 春の 日暮し 真澄鏡 …

真澄鏡は一つの単語としては一番多くの文字表記がされている言葉です。  
・犬馬鏡だけの表記。  
・白銅鏡、銅鏡のように、原材料での表記。

・万葉仮名での表記は、末蘇可我美、麻蘇可我美の二つ。

・他に、麻蘇鏡、真素鏡、真十鏡、真祖鏡、清鏡、真鏡などの表記があります。

(3)「馬声」は「い」と聞き、(4)「蜂音」は「ぶ」と聞いていました。

原文	垂乳根之 母我養蚕乃 眉隠 馬聲蜂音石花蜘蛛 荒鹿 異母二不相而 (巻 12-2991)
読下文	たらちねの 母が養ふ蚕の 繭隠り いぶせくも あるか 妹に逢はずして

この歌は動物の名が5つ(蚕・馬・蜂・蜘蛛(蛛)・鹿)も入っている珍しい歌です。

(5)「牛鳴」と書いて「む」と読んでいました。現代では「もー」でしょうが。

原文	… 猶八成牛鳴 大荒木之 … (巻 11-2839)
読下文	… なほや 守らむ 大荒木の …

このように万葉びとの生活には動物が身近にあったことがわかります。

(米谷 潔)

# シリーズ「會津八一(続)」



飛鳥園

## ◎飛鳥園「奈良のやどりにて」

かすがののよをさむみかも さをしかの まちのちまたを なきわたりゆく 春日野の夜が寒いためか、鹿が街のちまたを鳴きわたってゆく。

かつて奈良博の北にあり、多くの文人や学者に愛された日吉館で詠まれた歌です。八一は1921(大正10)年から定宿にしており、看板「旅舎日吉館」も揮毫しました。

最初の歌碑は1974(昭和49)年に名

物女将の田村きよの氏が前栽に建てましたが、彫りが気に入らなかったため、1991(平成3)年に富田節子氏が坪庭に新しい歌碑を建てました。

1995(平成7)年の廃業に伴い、2基とも近くにある飛鳥園の庭に移設されました。

飛鳥園は八一の勧めにより小川晴暘が仏像など撮影するために創業した写真館です。歌碑は通常非公開ですが、事前にお問い合わせすれば拝見できる場合があります。

(電話)0742-22-2872

## ◎猿沢池「猿沢池にて」

わぎもこが きぬかけやなぎ みまくほり いけをめぐりぬ かささしながら 吾妹の衣掛柳を見ようと思つて、折からの雨に傘を差しながら猿沢の池

をめぐつた。

天皇の寵愛を失った采女が入水したと言う采女伝説に基づく歌です。伝説を詠むことに関して、八一は《詩歌は決して証明された知識ばかりを詠まねばならぬものでもない》と述べています。

歌碑は、1998(平成10)年、奈良セントラルライオンズクラブが、猿沢池から興福寺に向かう石段「五十二段」の南西に建てました。しかし、解説板がないからでしょうか、立ち止まって見る人が少ないのが残念です。

(池内 力)



衣掛柳

# シリーズ「奈良スケッチ紀行」～水彩画で巡る名所・旧跡～



## 第3弾 法起寺とコスモス

前回は桜をテーマにお届け致しましたが、もう秋桜の季節が過ぎようとしております。コスモスと言えば、皆さん各々に名所が存在するかとは思いますが、私は普段の

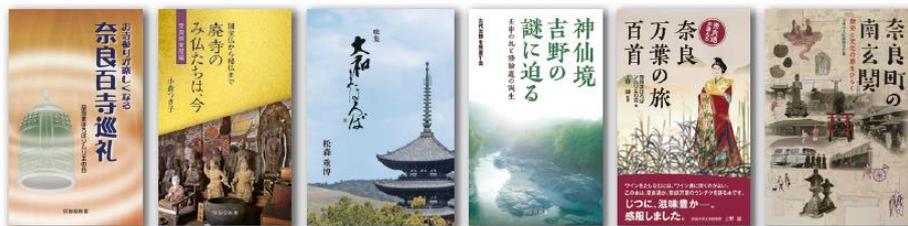
車で通り道となりますこちら、法起寺が一番です。シーズンには家族連れや立派なカメラを手にした人々で賑わいを見せます。

法起寺は世界遺産登録の際、「ほうりゅうじ」と合わせて「ほうきじ」と統一されましたが、皆さんはいかがでしょう？今でも「ほっきじ」の方がじっくり来るのは私だけでしょうか。地名や固有名詞の不思議、漢字の難しさを痛感する今日この頃です。

さて当寺に足を運ぶようになって知り得たことですが、周辺の農家さんは黒豆を作られています。宇陀エリアでは聞いたことはあつ

たものの、基本黒豆は丹波の産物だと思い込んでいた私にとっては大きな驚きでした。黒豆の枝豆はちょうどコスモスの季節の味覚となりますので、以来まさに「花よりだんご」・・・毎年枝付きのものを目当てに伺っております。これこそ絶品ですので、今後は広く皆さんにお勧めしようと考えております。

\*YouTube「奈良とびっきり観光ガイド」では、動画「法起寺のコスモス～法輪寺」をご覧ください。綺麗に撮れたと自負しておりますので是非一度ご訪問ください。(広報 G 佳山隆生)



『奈良町の南玄関―歴史と文化の扉をひらく』元興寺文化財研究所編  
令和元年、JR 桜井(万葉まほろば)線京終駅駅舎が明治31年(1898)開業時の姿に復元されました。新たな地域文化の拠点として生まれ変わり、この地域への関心が高まっています。個性あふれる地域性を歴史的に形作ってきた奈良町南部地域について、古代から近代までの歴史と文化を紹介するものです。元興寺文化財研究所を中心とする専門家と、地域づくりを担ってきた有志とが協働し、多くの住民の方々のご協力を得てこの地域に残された資料を掘り起こし、古代から近現代までの歴史と、今に受け継がれている産業や生活・信仰文化をまとめた1冊です。

奈良の魅力を奈良人が奈良から発信!! 京阪奈新書、あをによし文庫、奈良ガイド、自費出版 **京阪奈情報教育出版**

## 募金のお知らせ

当会は、今年で設立10周年を迎えました。これまで奈良の文化・観光の進展のため活動範囲を拡大しながら、様々な事業に取り組み、大きく発展してまいりました。次の10年に向けて新たな事業に積極的に取り組むため、当会では会員の皆様から、寄付金を募集することといたしました。詳細は本状に同封の書状および本紙1面の記事をご覧ください。皆様の温かいご支援に期待申し上げます。

## <編集後記>

新型コロナウイルスで季節がよく分からないですね。いつの間にか夏が過ぎ、冬も近づいてくる時期になりました。ワクチン接種率が上がってきましたし、そろそろ収束してほしいものです。

(広報 G) 磯兼・風間・柏尾・梶尾・佳山・窪田・小林(誠)・沢田・島田・中村・廣岡・二上・福岡・藤田・増田・松森・吉川



## 特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会

事務所所在地：〒630-8217 奈良市橋本町3-1 きらっ都・奈良 (BONCHI)

ホームページ：<http://stomo.jp/>

メールアドレス：[info@stomo.jp](mailto:info@stomo.jp)

つれづれ日記(ブログ)：<http://nara-stomo.seesaa.net/>



HPのQRコード